

高槻市薬剤師会地域 フォーミュラリ事業報告

高槻市薬剤師会 三宅良宏

目的

地域における薬物治療の標準化と医療費の削減を目的とし大阪府の後発医薬品安心使用促進事業の一環として大阪府より大阪府薬剤師会を通して委託を受けR4～R5年度事業を開始

令和4年度は医師会、歯科医師会、薬剤師会員にフォーミュラリへの理解と取り組みが始まる旨の周知のためアンケートを実施。フォーミュラリの策定と実施は令和5年度に実施

令和4年度はコロナ禍で医師会さんが多忙のため具体的に準備委員会開始までに時間が必要でした

フォーミュラリー準備委員会を開催できたのは1/24

7	21	石田・松尾・本田・三宅 芦田・岡本・岡崎・岩田	地域フォーミュラリー説明会	
8	27	石田・三宅・芦田（・栗原）	天王寺薬剤師会研修会	
10	22	三宅	天王寺区フォーミュラリー研修会	
11	16	三宅	茨木保健所 松岡氏面談（フォーミュラリーの件）	
11	16	三宅・本田（・栗原）	フォーミュラリー準備会議（八尾、中野先生講演）	
12	13	三宅・本田（・栗原）	フォーミュラリー会議	
1	5	石田・本田	稲田クリニック 訪問	
1	19	石田・三宅・本田・近藤・芦田・松尾	高槻市薬剤師会 1月正副理事会	
1	23	石田・三宅・本田・芦田・近藤・東田 玉置・市原・小川・岡崎・須藤・岩田	高槻市薬剤師会 1月理事会	
1	24	高槻市医師会 稲田先生・横井先生・松本先生	フォーミュラリー準備委員会	高槻市保健所
1	24	高槻市薬剤師会 石田先生・三宅先生・本田先生	フォーミュラリー準備委員会	高槻市保健所
2	13	石田・三宅・本田・近藤・芦田・松尾	高槻市薬剤師会 2月正副理事会	
2	17	石田・松尾・三宅・本田・近藤・岡本 東田・玉置・岡崎・小川・岩田・芦田	高槻市薬剤師会 2月理事会	
2	28	高槻市医師会 稲田先生・横井先生・松本先生	フォーミュラリー準備委員会	高槻市保健所
2	28	高槻市歯科医師会 甲斐先生・大山先生	フォーミュラリー準備委員会	高槻市保健所
2	28	高槻市薬剤師会 石田先生・三宅先生・本田先生	フォーミュラリー準備委員会	高槻市保健所
3	2	三宅・芦田・岡崎	フォーミュラリー研修会	ZOOM
3	18	三宅	地域フォーミュラリーに関する地域薬剤師会担当者説明会	府薬会館
3	28	高槻市医師会 稲田先生・横井先生・松本先生	フォーミュラリー準備委員会	高槻市保健所
3	28	高槻市歯科医師会 甲斐先生・大山先生	フォーミュラリー準備委員会	高槻市保健所
3	28	高槻市薬剤師会 石田先生・三宅先生・本田先生	フォーミュラリー準備委員会	高槻市保健所

フォーミュラリ準備委員会メンバー

高槻市医師会 稲田 副会長

高槻市医師会 横井 理事

高槻市医師会 松本 理事

高槻市歯科医師会 甲斐 副会長

高槻市歯科医師会 大山 常務理事

高槻市薬剤師会 石田 会長

高槻市薬剤師会 本田 副会長

高槻市薬剤師会 三宅 副会長

高槻市 地域フォーミュラリ策定手順と令和5年度のスケジュール

- ステップ1 薬剤師会で地域フォーミュラリ原案（尿酸、PPI、ビスホスホネート、鎮痛剤）を作成する 4～5月
- ステップ2 地域フォーミュラリ原案をヒアリングシートとともに医師会、歯科医師会、薬剤師会へ配布 5～6月
* 紙媒体での返送・グーグルフォームでの回答
- ステップ3 ヒアリングシートをもとに必要に応じ地域フォーミュラリ原案を修正し、地域フォーミュラリ案を作成 7～8月
* 修正案の作成会議 専門の先生方の人選
- ステップ4 地域フォーミュラリ案を医師会、歯科医師会、薬剤師会に提出し承認を得る。 9～10月
* 承認手順の検討 理事会？専門部会？
- ステップ5 承認されたフォーミュラリを公開し運用開始 1月～
* 周知配布方法の検討 HPに掲載 紙で配布 フォーミュラリを周知するための合同研修会開催
- ステップ6 フォーミュラリ導入後の薬剤使用量を薬剤師会員薬局で調査し導入前後の比較で効果を検証 1月分集計2月報告
- ステップ7 フォーミュラリ事業報告書を作成し大阪府へ提出 完 R6.2

地域フォーミュラリの導入に向けて
疾患群の候補を品質の担保されている
AGがある

P P I、尿酸生成抑制薬、鎮痛剤、
ビスホスホネートの4領域に絞って
策定を目指すことを合意した

地域フォーミュラリへの理解と地域フォーミュラリ導入の効果を周知するためフォーミュラリ学会の近藤副理事長による講演会を医師会員、歯科医師会員、薬剤師会員向けに3/2に実施した。参加者57名好評でした。近藤副理事長から学会で作成したモデルフォーミュラリが通用するのか活用して欲しいと意見を頂き参考にした。

今後のフォーミュラリー導入に向けてフォーミュラリー関係の書籍を購入し薬剤師会員向けに配布した。

フォーミュラリーの効果の検証のため導入前後の会員薬局での薬剤使用量の調査を行う事を決定。

令和5年度フォーミュラリ策定経過

先行している八尾市の事例を紹介した所、フロー図が医師の処方権の侵害ではないか？との意見がありフロー図抜きで作成に取り掛かった。

COIの明確化

特定の銘柄を選定するとなると

特定のメーカーと結託しているような誤解を生む可能性もあるので

銘柄指定なしで一般名ベースで

フォーミュラリを作成していった

フォーミュラリ事業を何のためにするのか？ 繰り返し医師会員 歯科医師会員 薬剤師会員すべての方へ周知が必要。
R5.7.7の国より医療費適正化計画において地域フォーミュラリの活用のお知らせが出され、全体の進行が加速した。

7回の実行委員会を経て
専門の先生方にお諮りして
PPI、尿酸、ビスホスは原案の通りで
鎮痛剤は二か所修正されました。
正式に高槻市地域フォーミュラりは
R6年1月運用開始になりました。
R5年1月とR6年1月の薬品使用量を集計し
大阪府に報告予定